

県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2011年7~9月期見通し)  
 ~第44回おきぎん企業動向調査(2011年4~6月期)調査結果より~

I. はじめに

1. 調査の結果

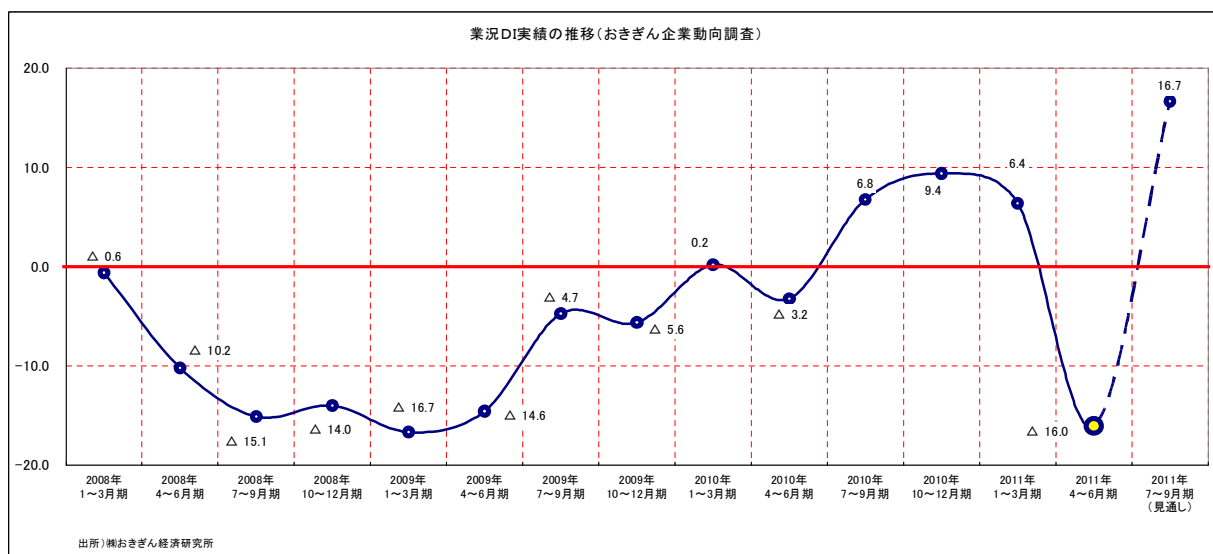
業況DIの推移

期 間 ・ 結 果	2010年			2011年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期(見通し)
項 目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
<b>全 業 種 計</b>	<b>△ 3.2</b>	<b>6.8</b>	<b>9.4</b>	<b>6.4</b>	<b>△ 16.0</b>	<b>16.7</b>
製 造 業	△ 23.0	0.0	△ 9.3	△ 8.9	△ 32.1	1.8
土 木 業	△ 12.8	△ 32.1	△ 11.8	△ 6.5	△ 10.0	23.3
建 築 業	△ 5.6	5.5	6.6	17.4	△ 9.1	12.1
卸 売 業	△ 16.1	△ 11.8	△ 3.3	△ 8.0	△ 27.0	0.0
小 売 業	6.9	25.7	18.2	0.0	△ 13.7	24.7
情報通信サービス業	25.0	30.8	33.3	38.5	22.2	33.3
医療・福祉	30.6	29.0	20.0	16.1	22.2	22.2
その他サービス業(宿泊・飲食等)	6.3	22.9	35.7	11.4	△ 48.6	45.7
その他(不動産、運輸等)	△ 3.2	5.6	18.4	19.4	△ 3.8	25.6

2011年4~6月期調査の業況DIは△16.0(前年同期比)となりました。

業種別でみると、情報通信サービス業、医療・福祉で「業況改善の動き」が見られました。一方で東日本大震災の影響を受け、製造業、土木業、建築業、卸売業、小売業、その他サービス業、その他において「業況の弱さ」が見られます。

2011年7~9月期の業況見通しDIについては16.7となり、卸売業を除くすべての業種において「業況改善の動き」が見込まれています。



**2. 調査の概要:** 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2011年5月下旬～6月上旬
- b. 調査対象: 県内企業 474社
- c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(受注)  
⑦雇用 ⑧IT関連投資 ⑨その他の投資(IT以外への投資)

**—おきぎんDIについて—**

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

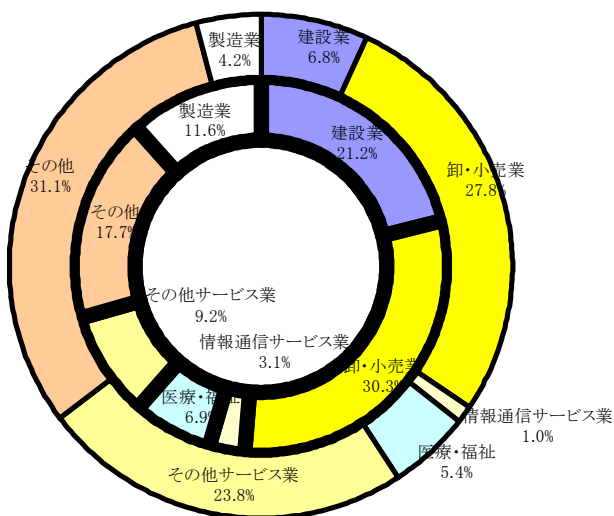
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)といった具合にご覧いただけます。

**3. 調査対象企業の業種・所在地構成**

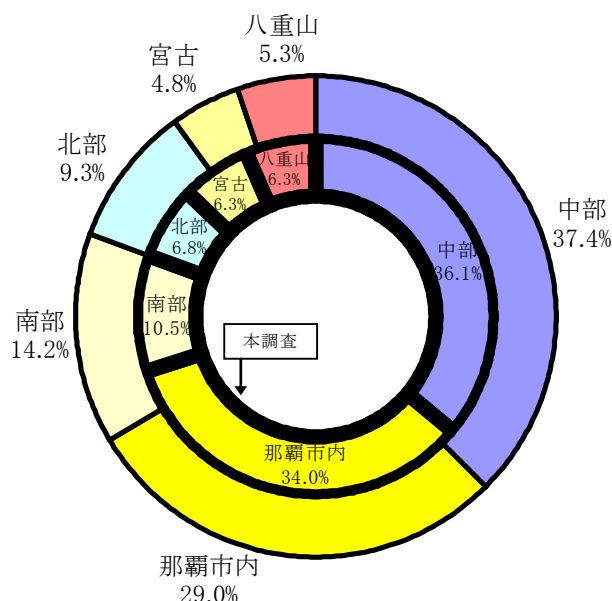
県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2006年事業所・企業統計調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、  
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料) 総務省、当行

県内の事業所所在地構成(外円)、  
本調査の事業所所在地構成(内円)



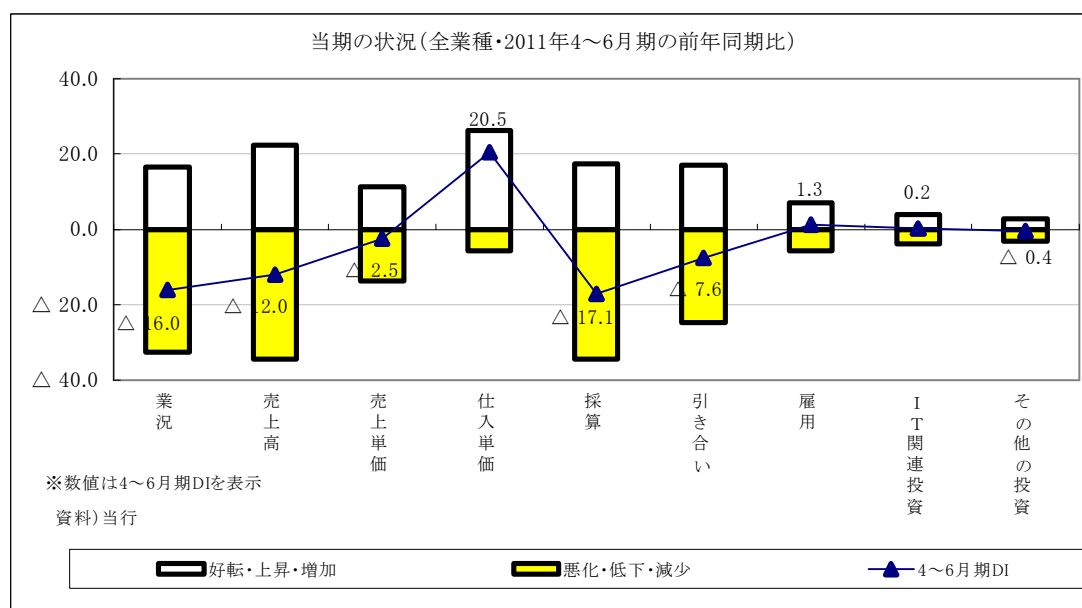
資料) 総務省、当行

## II. 調査結果(1) ～おきぎんDI: 県内の経営環境と業況感について～

### 1. 全業種

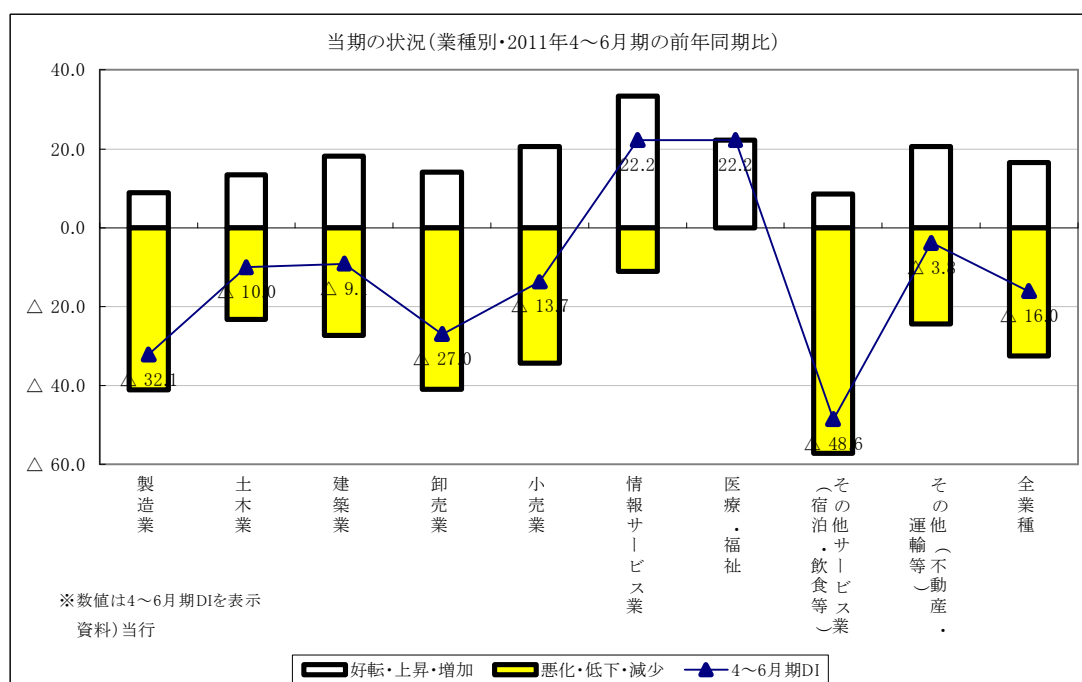
#### a. ①当期の状況(項目別・2011年4～6月期の前年同期比)

当期の業況DIを見ると、原油価格の高騰や東日本大震災の影響、天候不順などから仕入価格(20.5)は大きく上昇しています。また、公共工事の閑散期となることに加え、観光客数の大幅減少などから引き合い(△7.6)、売上高(△12.0)など大きく減少し、全体として**業況の弱さ**が見られます。



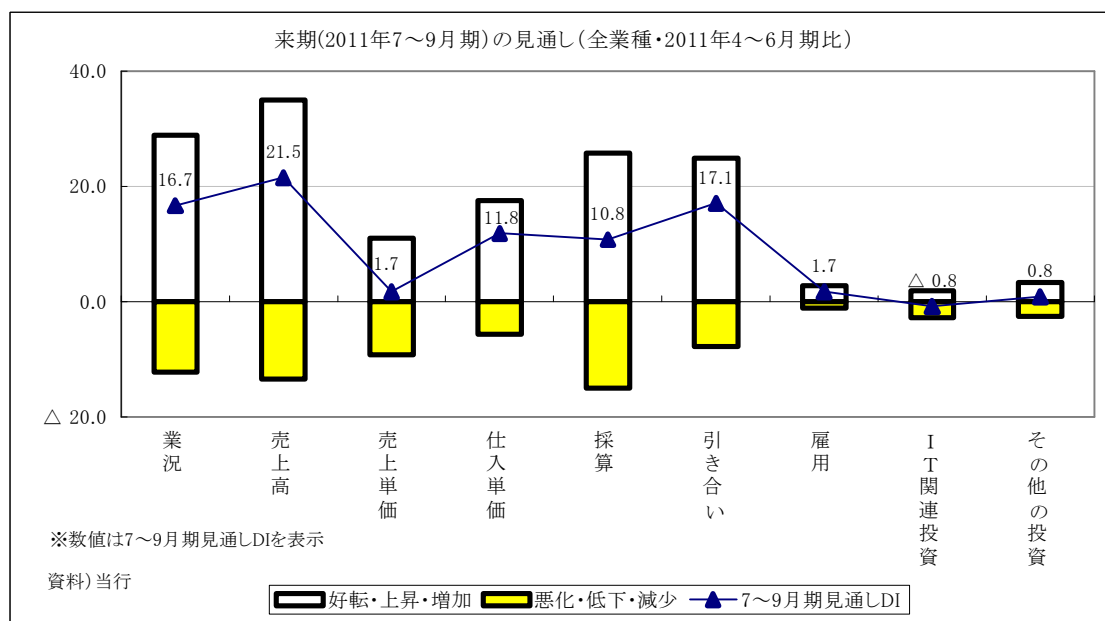
#### a. ②当期の状況(業種別・2011年4～6月期の前年同期比)

当期の状況を業種別に見ると、医療・福祉や情報サービス業は比較的安定的な業況感を示しているものの、震災の影響による自粛ムードの高まりなどにより、観光関連全般で大きく落込み、その他サービス業(△48.6)、卸売業(△27.0)、製造業(△32.1)などで業況感の悪化を示しています。全体として、**業況の弱さ**が見られます。



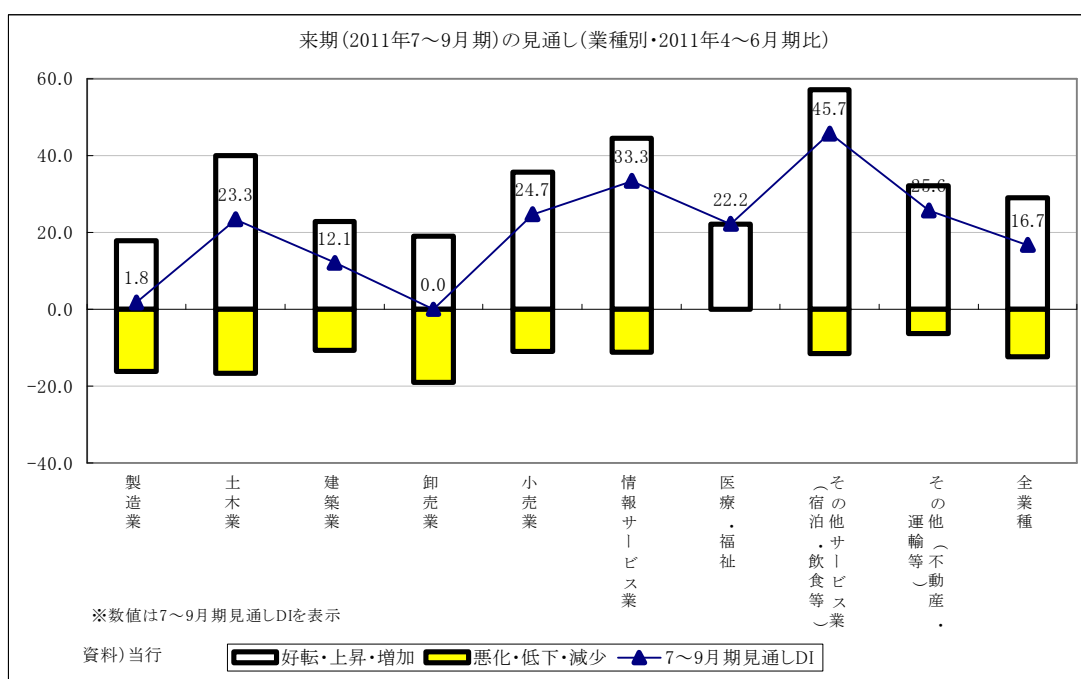
b.①来期の見通し(項目別・2011年7～9月期の2011年4～6月期比)

来期(2011年7～9月期)の見通しDIを項目別で見ると、引続き原材料価格の高騰が懸念されるものの4～6月期と比較すると建設需要、観光需要の増加が期待され引き合い(17.1)、売上高(21.5)、採算(10.8)などにおいて業況感の改善が見込まれます。IT投資関連で弱含むものの、全体として**業況改善の動き**となっています。



b.②来期の見通し(業種別・2011年7～9月期の2011年4～6月期比)

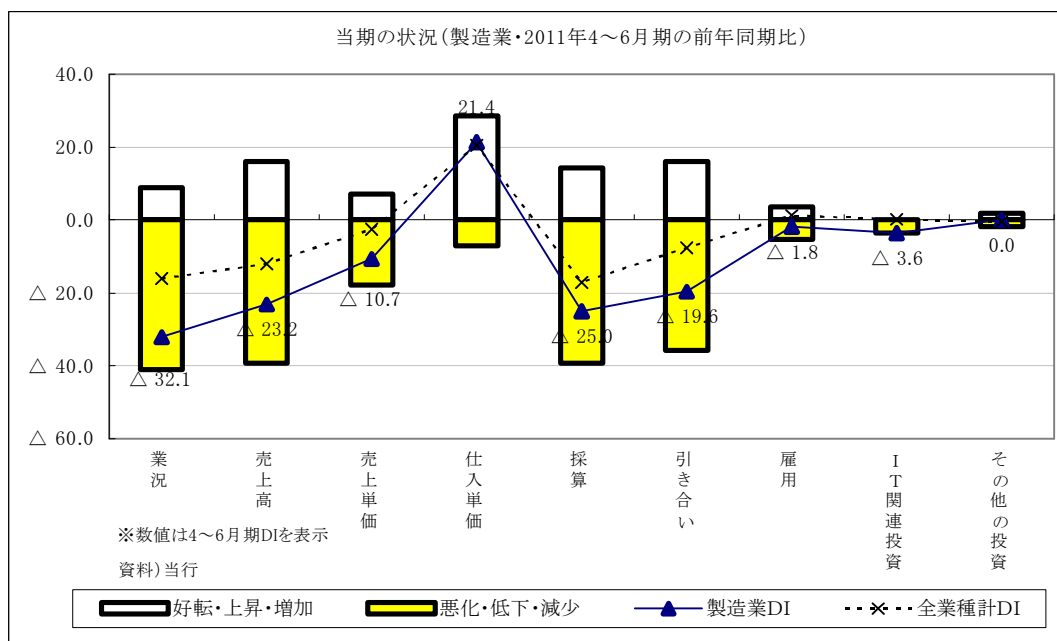
来期(2011年7～9月期)の見通しDIを業種別に見ると、4～6月期に大きく落ち込みを見せた反動からその他サービス業において好転することが期待されます。また、例年この時期は公共工事の発注が増加してくることから土木業・建築業においても好転が見込まれます。採算環境の厳しさが続く卸売業は横ばいの動きです。全体として**業況改善の動き**が見込まれます。



## 2. 製造業

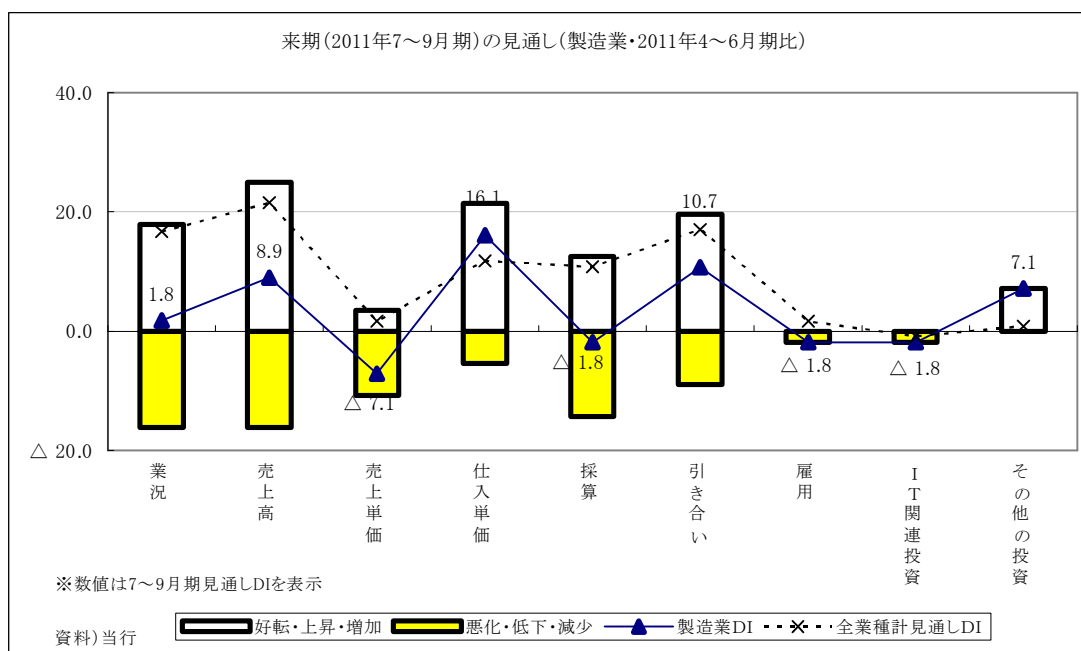
### a. 当期の状況 (2011年4～6月期の前年同期比)

製造業DIを見ると、東日本大震災の影響等から、観光客の減少、原材料入荷の遅れや価格の上昇、県外需要の減少など、土産品、泡盛、建設関連等全般で弱含んでいます。一方で、食品関連や容器製造業など一部の事業所において東日本からの生産シフトにより受注が増加しています。全業種DIを下回るなど、製造業全体として**業況の弱さ**が見られます。



### b. 来期の見通し (2011年7～9月期の2011年4～6月期比)

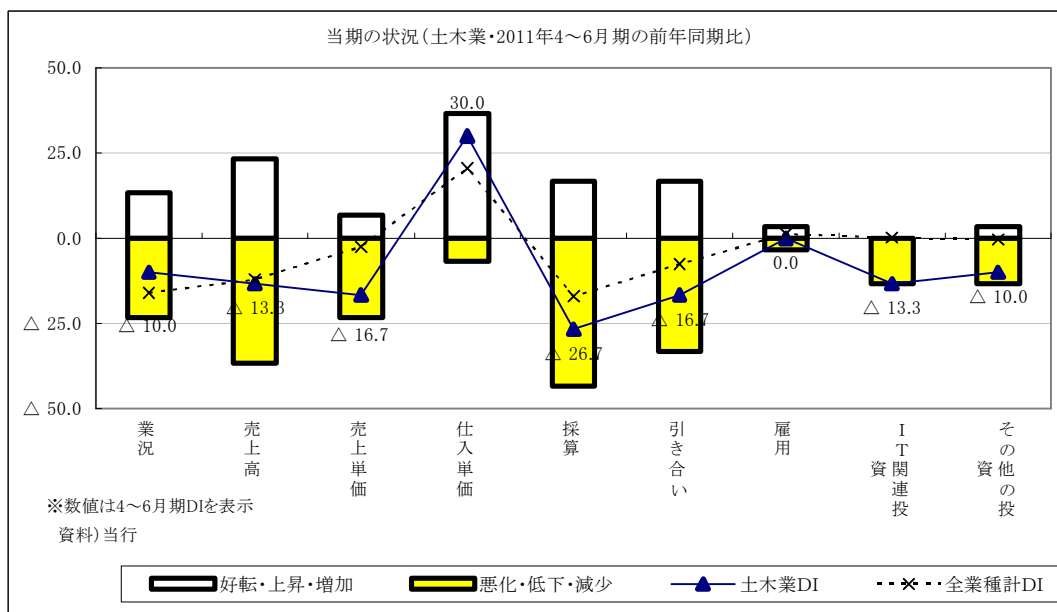
来期の見通しを見ると、引続き原材料価格の高騰が懸念され、人員削減を含む経費削減の動きが見られます。しかし、夏場の7～9月期は観光客数の回復が期待されます。建設関連においても工事発注数が増加していく時期であり、4～6月期と比較すると製造業全体として引き合いの増加が見込まれ**業況改善の動き**が見られます。



### 3. 土木業

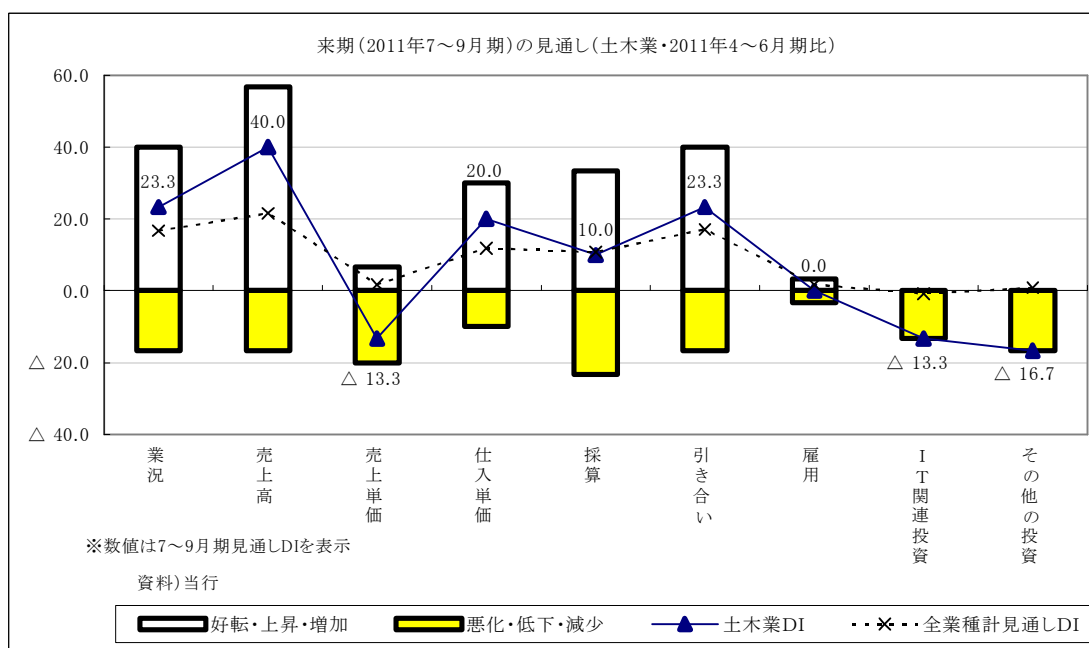
#### a. 当期の状況 (2011年4～6月期の前年同期比)

土木業DIを見ると、受注状況は順調とする事業所がある一方で、年々縮小する公共工事の動向から、総じて受注環境は厳しい状況が続きます。また、仕入単価の上昇から、採算(△26.7)も大きく下回っており、積算能力の向上などが課題として挙げられています。土木業全体として**業況の弱さ**が見られます。



#### b. 来期の見通し (2011年7～9月期の2011年4～6月期比)

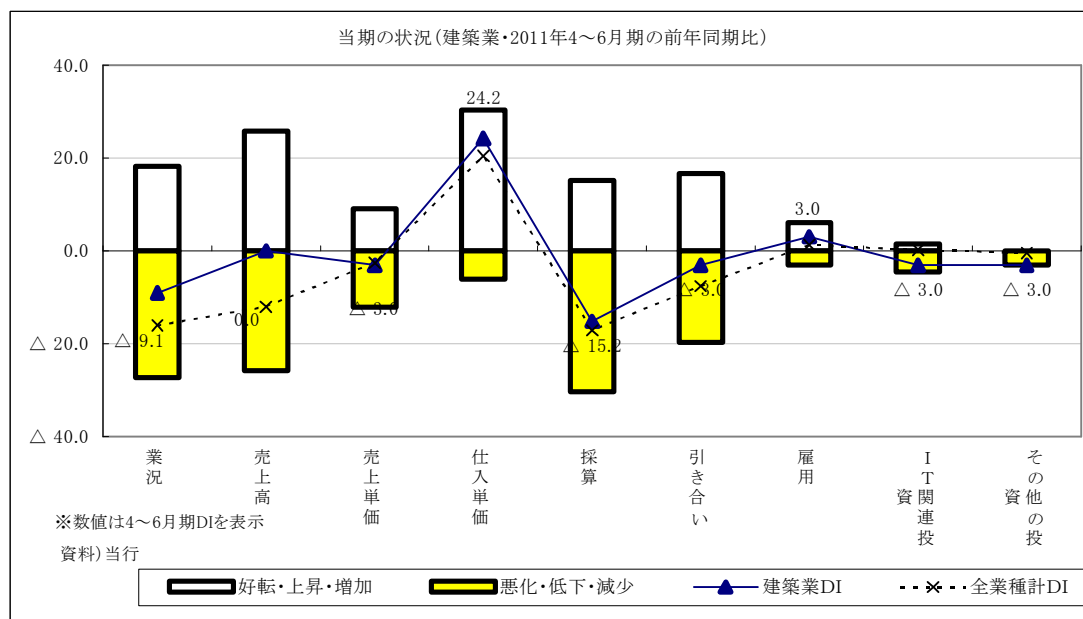
来期の見通し土木業DIを見ると、7～9月期は公共工事の閑散期となる4～6月期と比較すると、需要が増加する時期となり、引き合いの増加が期待されます。また、仕入価格は厳しい状況が続くものの、震災関連で滞っていた資材の調達環境が改善されるものと見込まれ、土木業全体として**業況改善の動き**が見られます。



#### 4. 建築業

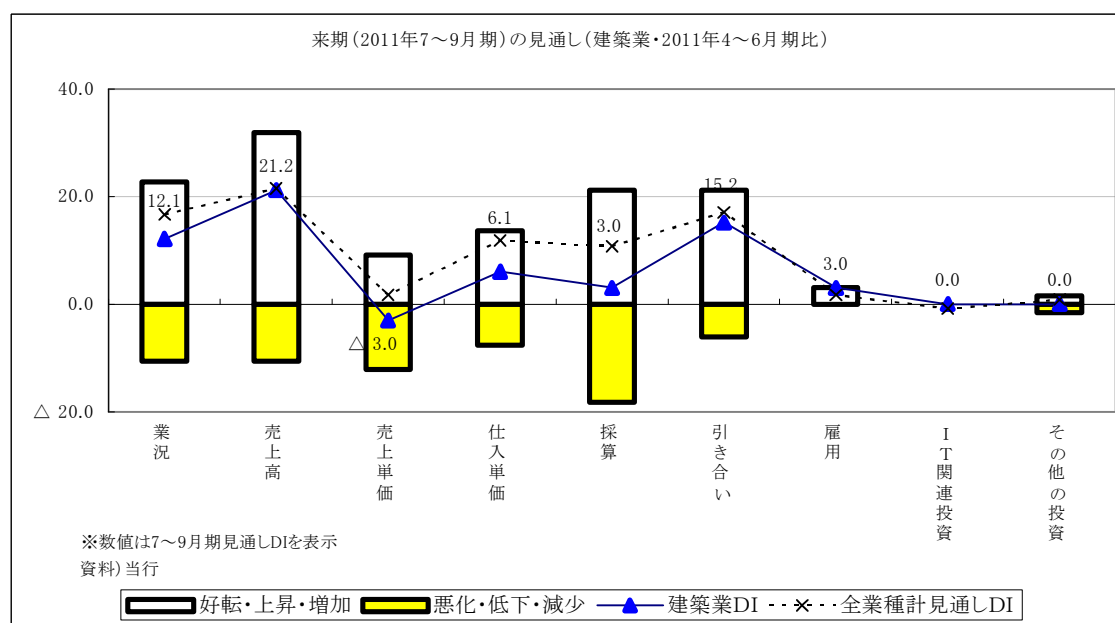
##### a. 当期の状況 (2011年4～6月期の前年同期比)

建築業DIを見ると、土木業同様に公共工事の受注や資材調達環境は厳しい状況が続きます。民間アパートも金融機関の融資取付が厳しくなっています。タリバン等のテロ対策の為、基地内工事も進捗遅れが見られる一方で、太陽光パネルの設置工事は好調に推移し、台風2号発生に伴う修繕工事なども増加しています。建築業全体として**業況の弱さ**が見られます。



##### b. 来期の見通し (2011年7～9月期の2011年4～6月期比)

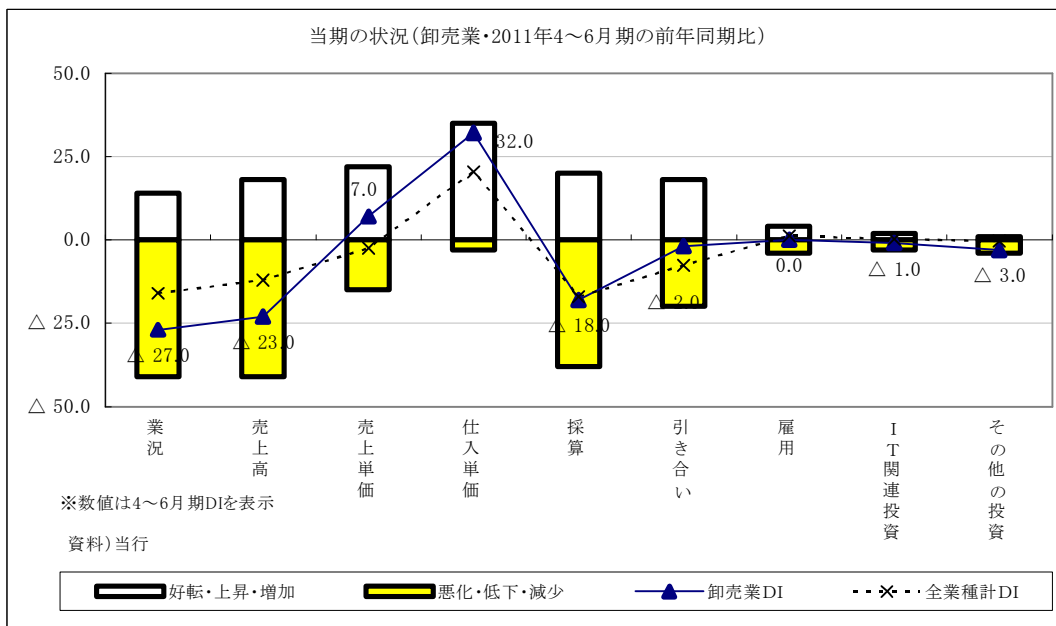
来期の見通し建築業DIを見ると、土木業同様に公共工事の増加が期待されます。また、継続的な需要が見込まれる太陽光パネル設置工事や、7月24日の地デジ化に向けた関連工事、夏場の空調設備のメンテナンスなど電気工事関連で需要が見込まれます。公共工事が縮小するなか、各社とも木造住宅やリフォームなど新分野開拓へ動いています。建築業全体として**業況改善の動き**が見られます。



## 5. 卸売業

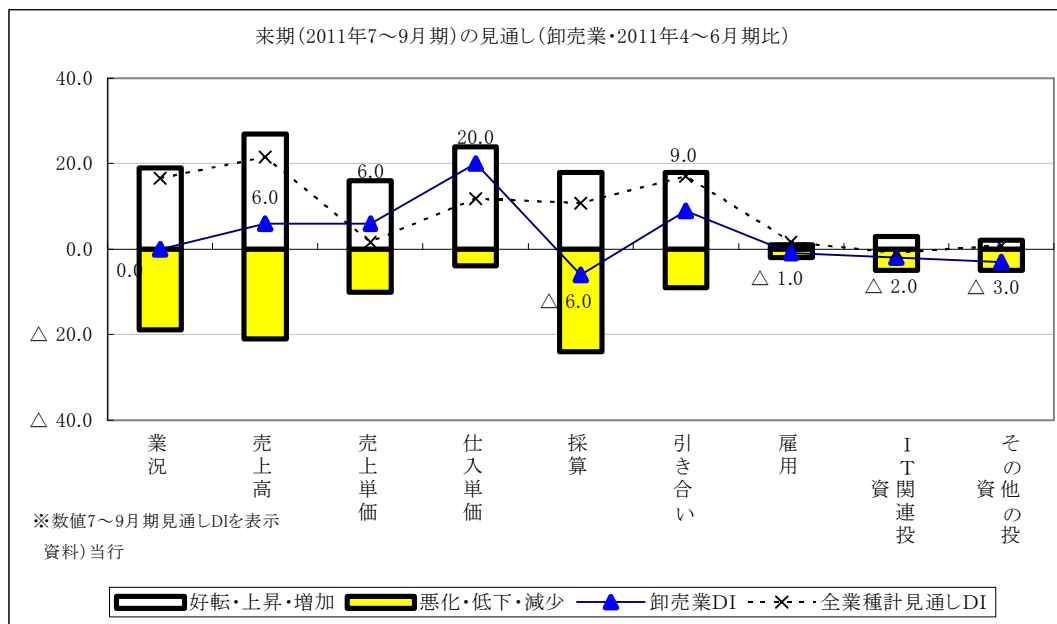
### a. 当期の状況 (2011年4～6月期の前年同期比)

卸売業 DI を見ると、震災関連ではガスコンロの需要増、米の風評被害、タバコ生産減による輸入品取扱の増加、観光客数減少や飲食・外出抑制の動きによる食品卸の悪化などが見られます。台風被害により修繕に伴う建設資材の需要が高まるものの、停電により一部食品在庫を廃棄するなどの影響が出ています。その他、天候不順による青果物の高騰や、ユッケ等の食中毒騒動から食肉需要も減少するなど、卸売業全体として**業況の弱さ**が見られます。



### b. 来期の見通し (2011年7～9月期の2011年4～6月期比)

来期の見通しを見ると、震災の影響や世界的な原油価格の上昇など不透明感はあるものの、工事発注に伴う建設需要の増加や資材調達環境の改善、夏場の観光客の回復、旧盆に伴う食品需要の増加などが期待されます。一部において価格転嫁の動きが見られるものの、採算見通しは厳しく、雇用面など経費削減の動きは続きます。卸売業全体としては**業況横ばい**の動きが見られます。

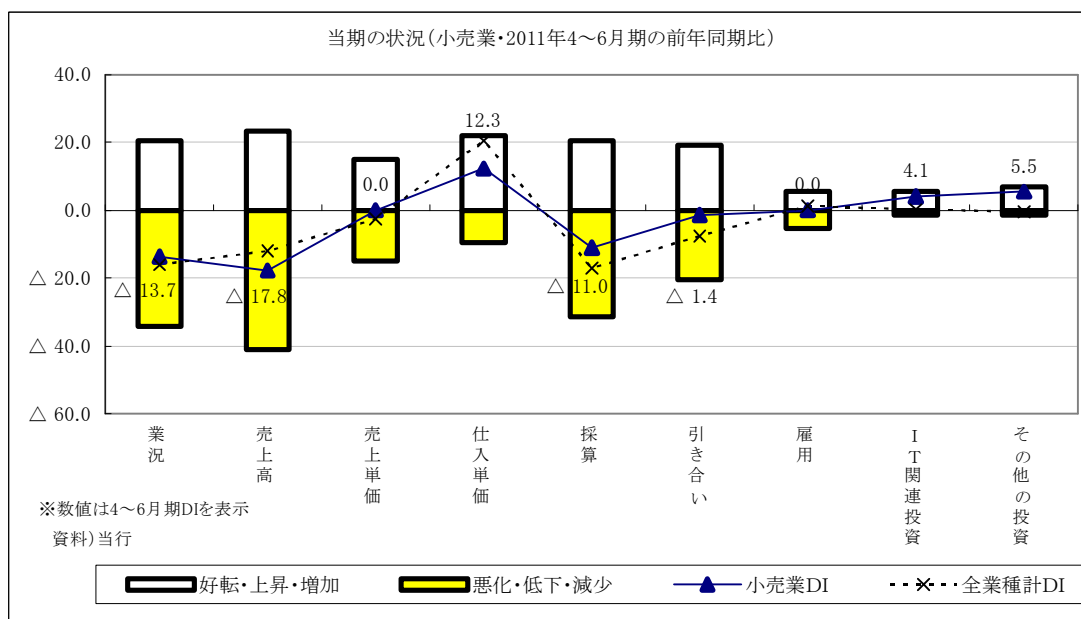




## 6. 小売業

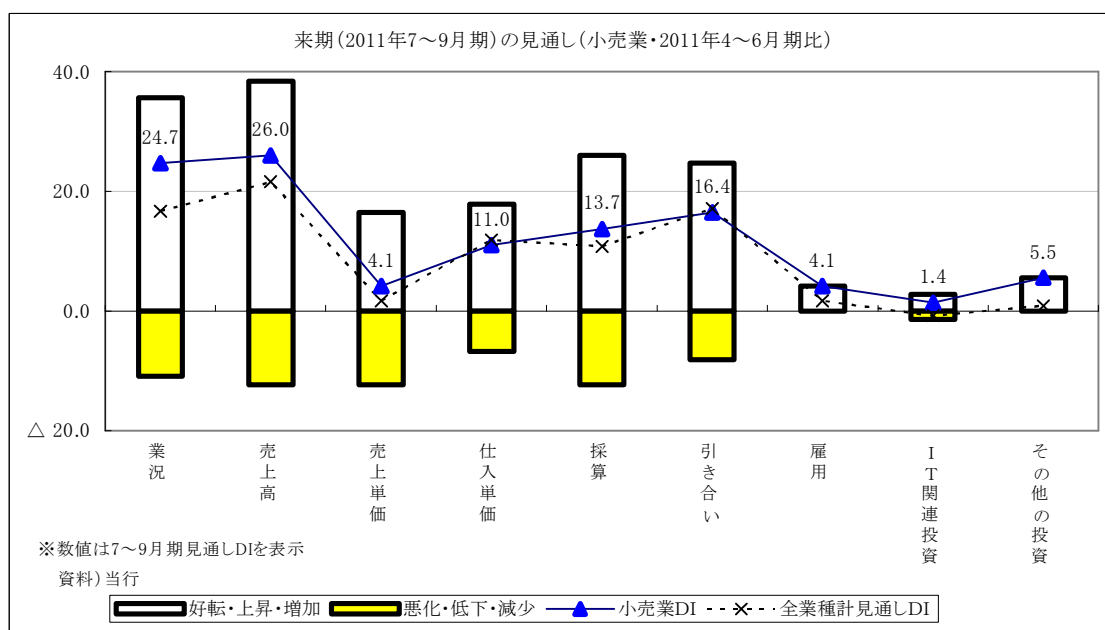
### a. 当期の状況 (2011年4～6月期の前年同期比)

小売業DIを見ると、震災の影響から自動車関連(新車、中古車、部品等)の調達状況は厳しく、観光客の減少による土産品の販売不振、タバコの在庫不足などが見られます。天候不順などから、かりゆしウェアの販売も鈍いスタートとなりました。店舗改装や新規出店、オリジナルブランド開発など新たな取組が見られるものの、小売業全体では**業況の弱さ**が見られます。



### b. 来期の見通し (2011年7～9月期の2011年4～6月期比)

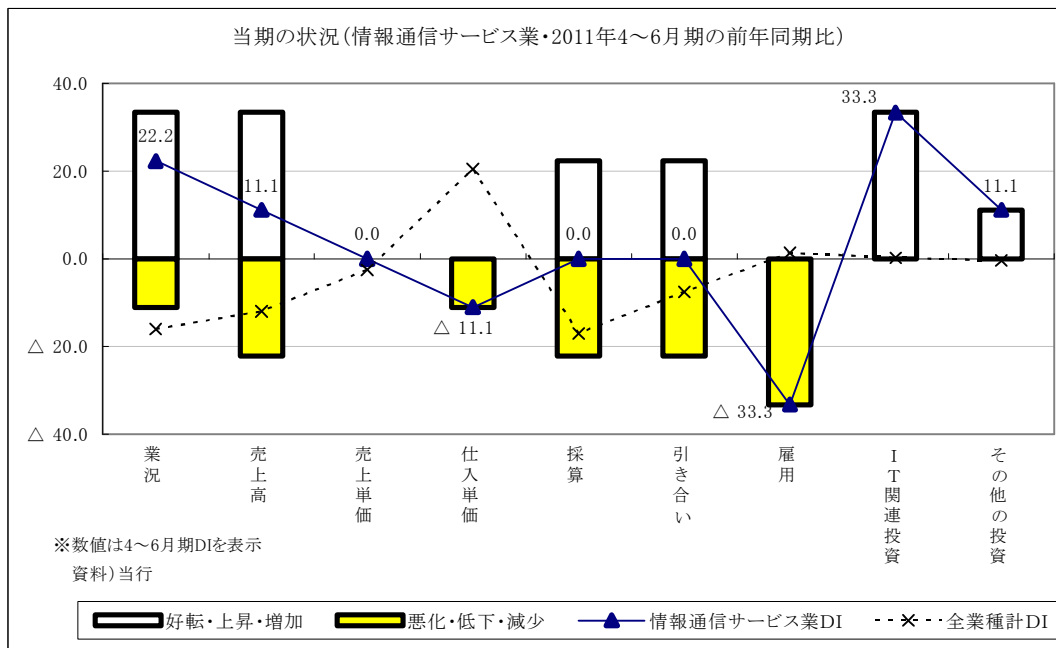
来期の見通し小売業DIを見ると、震災の影響による車輛生産の回復遅れ等は懸念されるものの、夏場に入り沖縄観光のトップシーズンとなることから、土産品、飲料、服飾雑貨、ガソリン販売などの需要増加が見込まれます。また、スーパークールビズによるかりゆしウェアの販売増も期待されます。その他、TV録画機の買換需要などもあり、小売業全体では**業況改善の動き**が見られます。



## 7. 情報通信サービス業

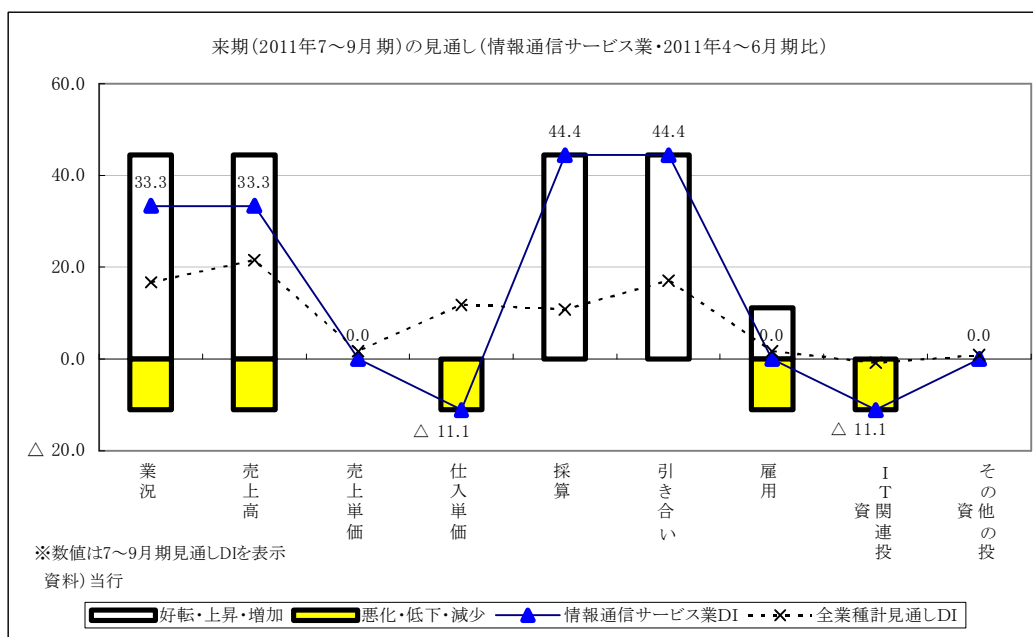
### a. 当期の状況 (2011年4～6月期の前年同期比)

情報通信サービス業DIを見ると、地方公共団体などから防災情報システムや文書管理システムなどの受注が増加するなど、ソフトウェア開発業などは好調に推移しています。情報サービス業全体として**業況改善の動き**が見られます。



### b. 来期の見通し (2011年7～9月期の2011年4～6月期比)

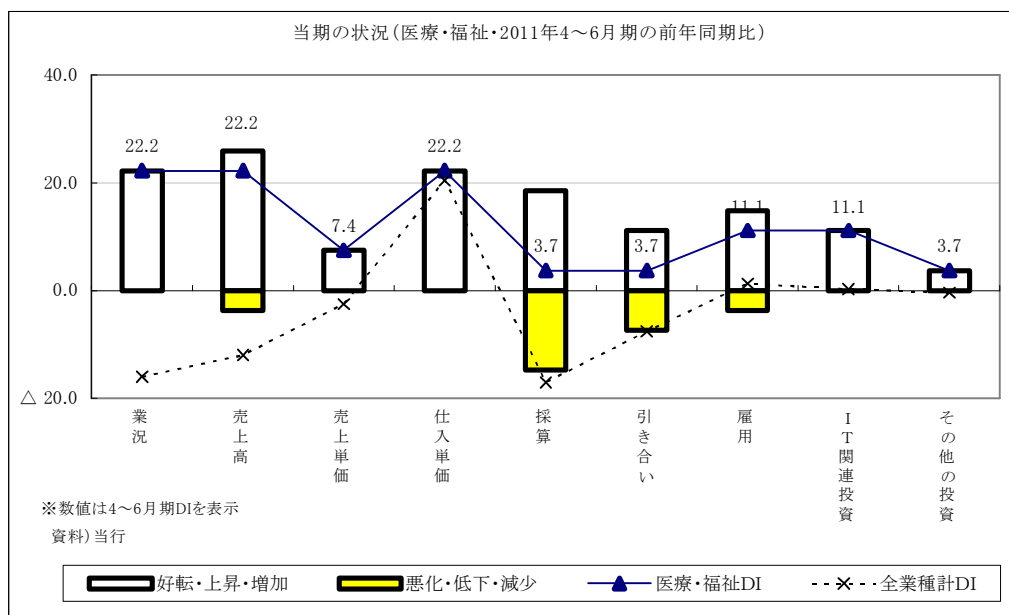
来期の見通しDIを見ると、引続きソフトウェア開発などについては、地方公共団体などからの安定受注を見込みます。震災関連の自粛ムードが和らぎ通信・放送・情報制作業なども広告需要の回復などが期待されます。情報通信サービス業全体として**業況改善の動き**が見られます。



## 8. 医療・福祉

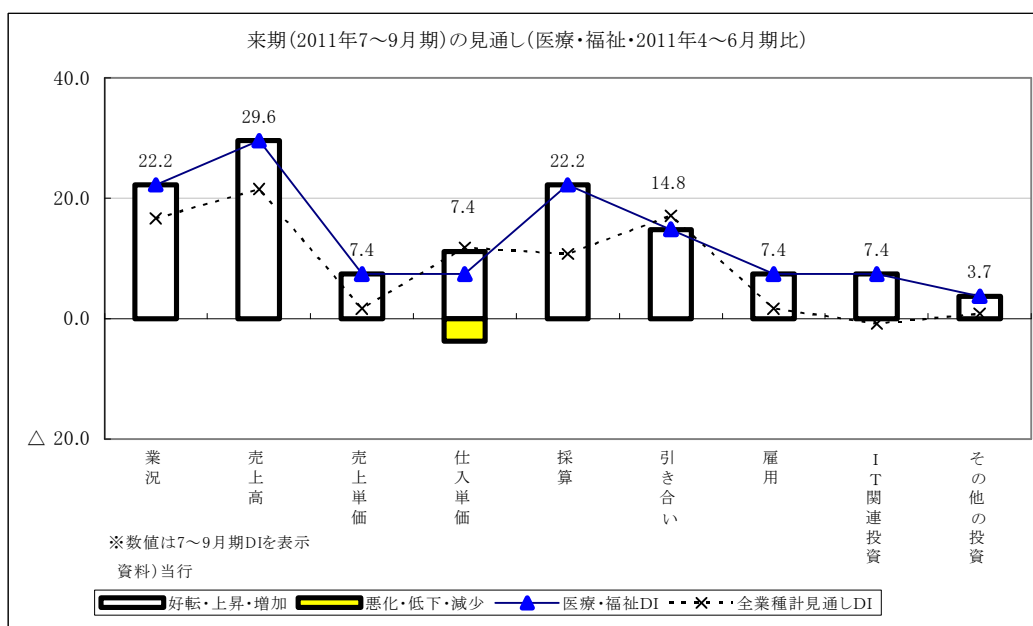
### a. 当期の状況 (2011年4～6月期の前年同期比)

医療・福祉DIを見ると、仕入先の薬品メーカーなどの被災状況等は懸念されるものの、医療施設の経営環境は順調に推移しており、新たな診療所の開設など設備投資の動きが見られます。介護施設も近隣病院との連携強化や提供メニューの多様化などに取組んでいます。各施設とも人材育成などサービスの質向上を強化しています。医療・福祉全体としては**業況改善の動き**が見られます。



### b. 来期の見通し (2011年7～9月期の2011年4～6月期比)

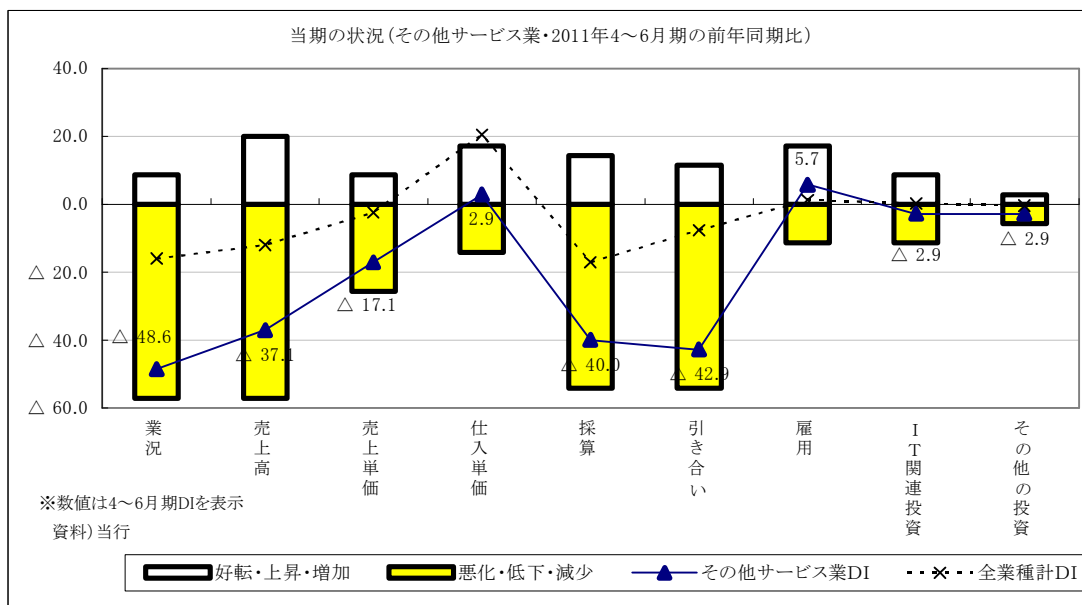
来期の見通し医療・福祉DIを見ると、引続き経営環境は安定的に推移すると見込まれます。夏場は企業など団体健診の需要が増加します。また、皮膚科などは湿疹や火傷などの外来患者が増加する季節です。MRIなどの医療器機導入や病棟建替など設備投資の動きも活発であり、医療・福祉全体として**業況改善の動き**が見られます。



## 9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、映画館、結婚式場、教育関連等)

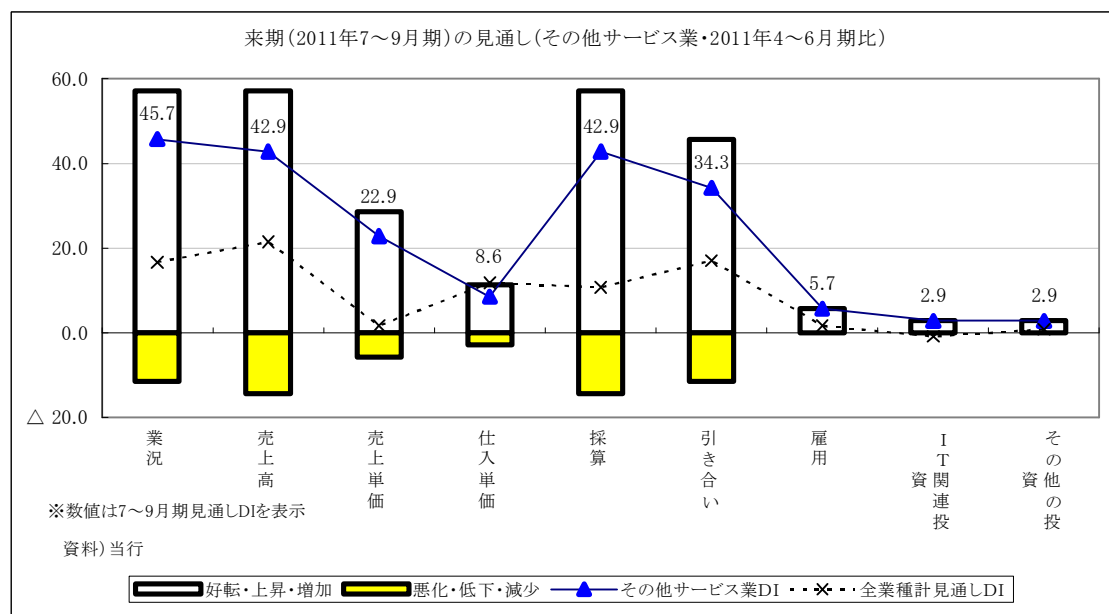
### a. 当期の状況(2011年4~6月期の前年同期比)

その他サービス業DIを見ると、4月の入域観光客数が国内外含め10万人以上(前年同期比)減少するなど震災の影響は大きく、ホテル、飲食店、リゾートウェディングなど関連産業全般で需要が大きく減少しました。一部においては新規出店の動きが見られるものの、その他サービス業全体としては業況の弱さが見られます。



### b. 来期の見通し(2011年7~9月期の2011年4~6月期比)

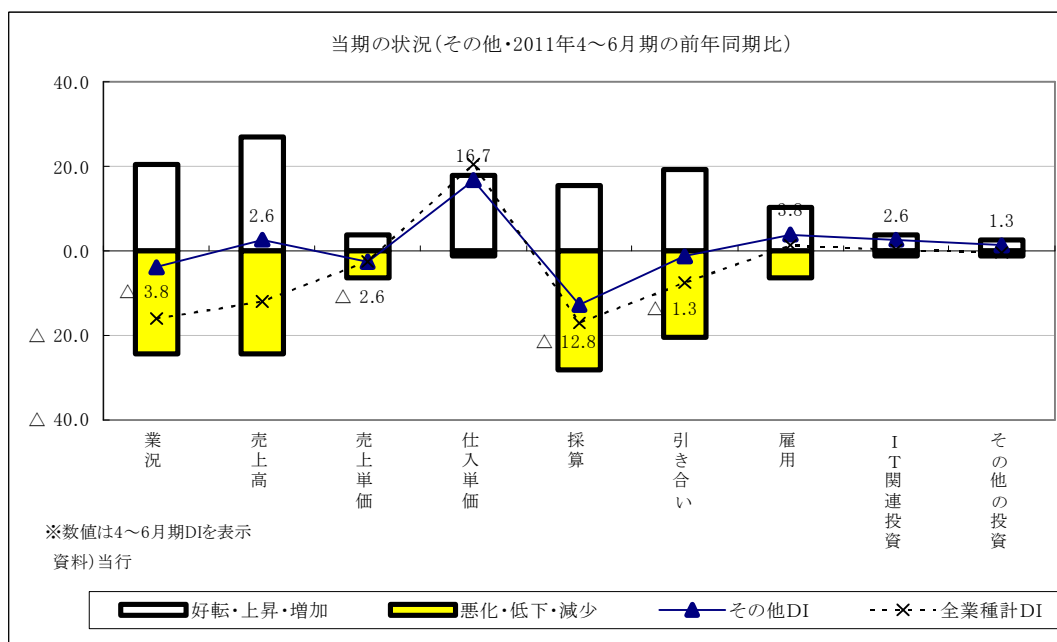
来期の見通しを見ると、修学旅行の増加など、震災による観光客数の落込みも回復し、例年通りの賑わいが期待されます。また、夏場のビール等の需要から飲食店・居酒屋等も売上増加が見込まれます。一方で、自動車生産状況からレンタカー不足などが懸念されています。その他サービス業全体として業況改善の動きが見られます。



## 10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

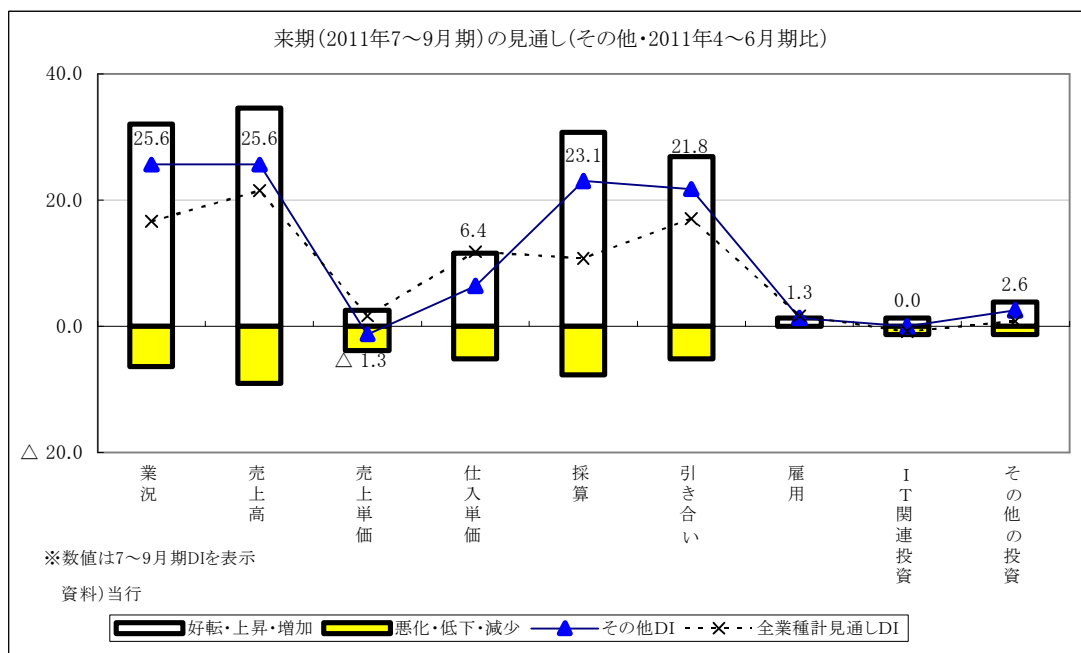
### a.当期の状況(2011年4~6月期の前年同期比)

その他DIを見ると、運輸業は、原油価格の高騰により燃料費が増加しています。建設コンサルタント業も公共工事の減少などから需要が減少しています。自動車解体業などで震災の影響などによる新車販売の鈍さから廃車処理が減っています。不動産業では、消費税増税を見越した土地売買の動きが見られます。その他全体としては**業況の弱さ**が見られます。



### b.来期の見通し(2011年7~9月期の2011年4~6月期比)

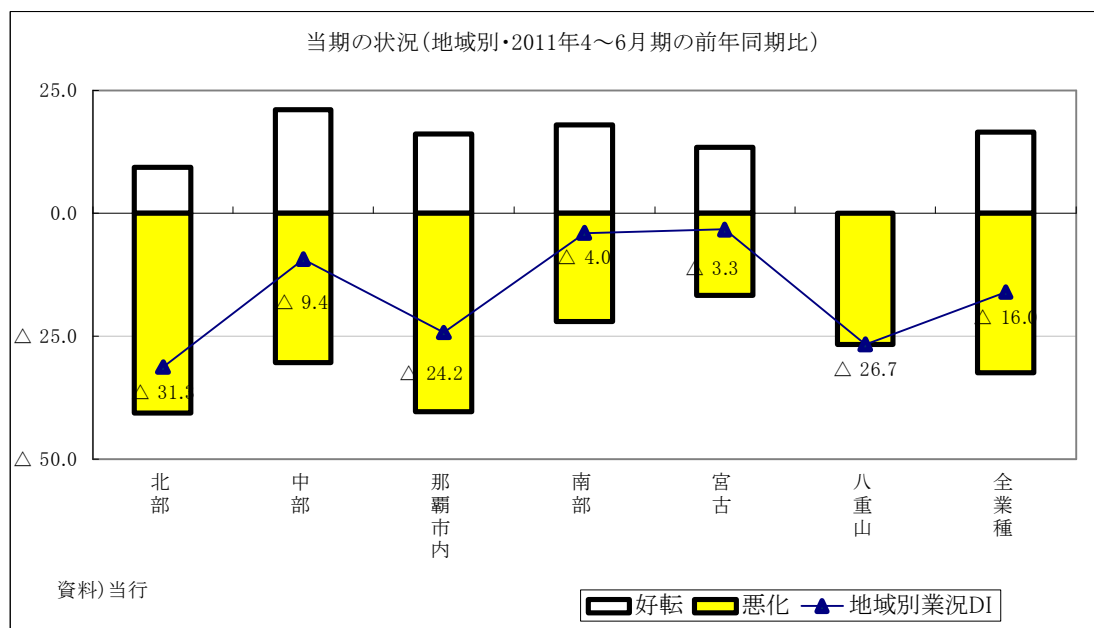
来期の見通しを見ると、建設需要の増加による生コン配送業や建設コンサルタント業、観光シーズンによる輸送サービス業、季節的にイベント開催が増加する警備業などの需要増加が見込まれます。不動産業では景気低迷による不動産処分等の動きなどを期待します。重機入荷の動きは鈍く建設重機リースなどは厳しさが続く見通しです。その他全体として**業況改善の動き**が見られます。



### Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

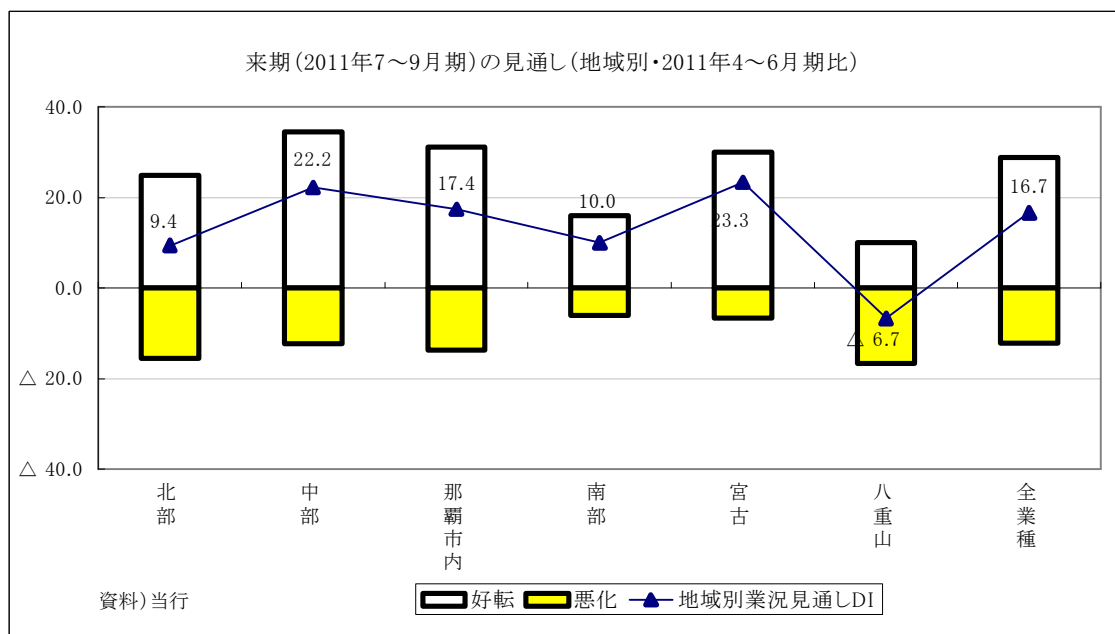
#### 1. 当期の状況(2011年4～6月期の前年同期比)

地域別業況DIを見ると、全地域において業況の弱さが見られます。那覇市内は製造業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食業など様々な業種が集積しており、震災における観光客数の減少などの影響を受けました。北部や八重山などは生コン製造や建設資材販売を含む公共工事を中心とした建設需要の減少が影響しました。



#### 2. 来期の見通し(2011年7～9月期の2011年4～6月期比)

来期の業況見通しDIを見ると、全地域が悪化を示すなど震災の影響が色濃く出た4～6月期と比較すると、観光需要や建設需要の増加など、各業種で好転が見込まれ、八重山以外の地域で業況改善の動きが見られます。八重山においても建設需要の増加は期待されるものの、競合による受注環境の厳しさは続くものと見込まれています。



#### IV.まとめ

##### 【当期業況DI】

- ① 当期（2011年4～6月期）の業況DI調査の結果は△16.0と、リーマンショック・原油高騰の影響を受けた2009年1～3月期（△16.7）に次ぐ悪化幅となりました。
- ② GW期間中の日並びがよく期待された観光関連産業は、震災に伴う自粛ムードなどから、観光客数が4月＝21.3%減、5月＝17.3%減（いずれも前年同月比）と大きく落ち込むなど、宿泊、土産品、飲食店などを中心に大きな影響を与えました。
- ③ 建設関連においても、公共工事の発注は年々減少しており、震災の影響による建設資材の仕入環境の悪化などから民間工事の動向も弱く、土木、建築、製造、卸など建設関連産業全般において厳しい結果となりました。
- ④ また、台風2号の発生は、食品廃棄の発生や資材倒壊など大きな被害を受けました。
- ⑤ その他の動きとして、震災に伴うタバコや自動車の生産機能マヒに伴う在庫不足や、全国的な節電意識の高まりによるLED電球の出荷増などがみられました。
- ⑥ また、他県での食中毒問題や原発問題に絡む米産地の風評被害などが、県内でも影響を受けるなど2011年4～6月期は厳しい結果となりました。

##### 【来期の見通しDI】

- ① 来期（2011年7～9月期）の見通しDIについては、16.7ポイントとなりました。大きく落ち込んだ当期（2011年4～6月期）の反動により大きく改善されることが期待されています。
- ② 観光関連では、夏場のトップシーズンに入ることから、東日本からのシフトも含め観光客の動向は、改善していくことが期待されています。
- ③ 建設関連においても、資材価格の高騰は引続き懸念されるものの、工事発注量が増加していくことが見込まれます。
- ④ また、旧盆に伴う食料品需要の増加や、スーパークールビズなどに代表される省エネ志向から、かりゆしウエアの需要増加が大きく期待されています。

